

「2025年度香港中文大学サマープログラム派遣参加報告書」

京都大学文学部2年 網倉 風野子

①学習成果としては、中国語への基礎的な勉強姿勢が根付いたことが最大のものであると思う。今回の留学では京大で中国語を第二外国語として一年学んだのちの状況で渡航したわけであるが、大学の授業だけでは中国語の学習にほとんど意味を持たないということがわかった。確かに一年間で学んだ文法や語彙が香港の授業でも役に立ったのは事実であるが、それ以上にもっと基礎的なことを香港で学ぶことになってしまっていた。この点で、香港留学を通じて中国語の自主学習の重要性を実感し、自分から学びに積極的になることの大切さを感じた。また、英語と中国語を用いて中国語の授業が行われたが、難しさを感じながらも言語学習の面白さを非常に深く感じる事ができた。新しい言語を学ぶ際にこのような貴重な学びの機会を得られたことに感謝の気持ちでいっぱいである。

②海外での経験としては、人の温かさを感じられたことが大きかったと思う。今回の香港が3度目の海外であった私にとって渡航前は非常に緊張し、言語の壁について何度も悩んだものだった。また、留学の申し込み前にも、英語も中国語もしっかりできない私が留学してもなんの意味があるのだろうとよく考えていた。しかし、実際に香港に行ってみると、それらの悩みはきれいに消えて、言語以上にあたたかい国民性に触れて香港の生活を楽しむことができたのだ。異なる文化を持つ人々と同じ空間で生活し、アクティビティに参加する、この経験によってこれまでの海外旅行では考えるに至らなかった共同生活についても考えを持つきっかけにすることができた。

③プログラムの内容について、語学学習以外でもこのサマープログラムでは様々なアクティビティが用意されていた。香港の文化や慣習を知る良い機会として、積極的な参加を心がけたが、全体での活動として行われることで、個人では行くことのできない場所や食べることのできない料理などをたくさん味わうことができたように思う。

④進路への影響としては、非常に大きな出来事になったと感じている。これまで中国語を学習したいという気持ちはあったが、今回の留学を通してその学習に対する心のハードルも低くなり、また、中国や香港の文化に触れたことでより中国語圏の国々への好感度が上がったと深く実感している。まだまだ中国語スキルは習得できていないが、これからの学習意欲はとても高まっており、この思いが進路にも大きな影響を与えるのではないかと感じている。